

八雲立ち 暑き夏空 湯布の水
月も宿ると 君に手向けし

令和二年六月十八日

大中臣正比呂



夏空に入道雲が立ち上る暑い日に、私はお供した道の途中で
陛下に湯布院の冷たい名水を差し上げて、「この清水は、水に
月がはつきりと映るような心清き人が召し上がるのみ」と
申し上げましたね。それが政治を統べる心でございます。